

【出題内容】

□ 2008～2014 まで傾向変化なし: ①長文総合 ②長文総合 ③長文総合 ④会話 ⑤自由英作文

	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008
語句整序	①12131 ④2	①12131 ④2	①12131 ④2	①12131 ④1	①12131 ④1	①12131 ④2	①12131 ④1	①12131 ④2	①13 ④2
文整序	①12131	①12131	①12131	①12131	①12131	①12131	①12131	①12131	①1
書き出し完成 内容真偽	①22334	①32533	①22333	①42333 ④1	①22134 ④1	①32234	①32333	①52332	①42634
空所補充	①32231 ④3	①23242	①32232 ④2	①22232 ④3	①32431 ④3	①22432 ④2	①32233 ④3	①22333 ④2	①42231 ④2
⑤自由英作文	1	1	1	1	1	1	1	1	1

語句整序: 長文中の空所に入る語句を並べ替える。与えられた語句を全て使うタイプと1～2語不要語を含む問題あり。易しい問題も多いが、年度によっては難解なものもある。近年難化傾向にある。

文整序 : 長文中の空所に入る4つの英文の順番を答える問題。比較的易しいものが多いので確実に取りたい。

書き出し完成: 内容一致問題がほとんど。ほとんど長文中の一部のみで解答の根拠を見つけられる問題だが、中には全体を読まないと判断出来ない問題もあるので要注意。④の会話問題では本文中の下線部の内容を答えさせる問題もある。

2014年度の例で見ると、

- ①の長文問題は1問は最終パラのみ、もう1問は全体の確認が必要。
- ②の長文問題は2問は1~2パラ程度のスキミングで対応可能。1問は全体確認必要。
- ③の長文問題は3問とも1~2パラ程度のスキミングで対応可能。

空所補充: 語句の補充問題。④の会話問題では口語表現を知らないと出来ない問題もあるので注意。Z会などの会話問題集をやっておくのもよいが、全体的に難易度は低いので、1~2問程度落とすことを気にするより国語・社会のレベルUPに時間をかける方がよい。

長文問題出典: **New York Times, Economist, Independent, The New Yorker** といった時事英語からの出題が目立つが比較的英文は読みやすいので、時事英語の特別な対策は原則不要。ただし、「背景知識」がある人とない人で英文を読む際の「能率」が全く変わってくる。「ニュースフラウザ」などのスマホの無料 News アプリで「東洋経済」「週刊 Diamond」「President Online」「AERA」などの記事を読んでおくとよい。

他学部・他大学の問題との相関

自由英作文は早稲田・法などと相関が強いが、語数などは違うので注意。慶應経済の自由英作文に比べるとテーマは平易で取り組み易い。

長文中に整序問題が出る大学は他にも多数ある(東大もたまに)ので、早稲田・政経英語に取り組むことで、そうした形式の問題の対策にもなる(お釣りがきますが)。

会話問題は早稲田・商受験者は特に対策として取り組んでおくべき。

自由英作文以外はマークシートなので、慶応大・経済・文・医などの問題に比べると国公立大の記述問題との相関は低い。ただ、それがない読解力は必要なので、高度なスキーマを要する長文読解の練習にはなる。

早稲田大・政経「英語」 勝利の方程式

- ① 会話問題は満点を目指す！ここで落とさないことがまず第一関門突破のカギ！
- ② 長文読解を含め、消去法が基本！確実な根拠を持って解答出来る能力がカギ！
- ③ 受験生平均が高くないでも、慶應と違って合格点は高いので注意！
- ④ 基本的な整序問題を確実な文法力でガッツリ取る！難しいと判断したら時間をかけすぎない！
- ⑤ 長文読解はパラグラフごとに内容の「要約メモ」を作成しておくことで解答能率がUPする！
- ⑥ 早慶実学系は「経済・政治課題・文化」などの背景知識がものを言う！特に今後はグローバルな世界における日本の知識人やリーダーの姿勢などがテーマになる可能性も大。普段から、社会人が読む雑誌などに目を通しておくと取り組み易い！
- ⑦ 理想的な解答時間は、①～③の長文を各 20 分 + ④会話を 5 分 + ⑤自由英作文を 15 分で 合計 80 分 + 見直し時間 10 分。
- ⑧ 合格最低ラインは 3 教科で 67.8 / 63.7 / 69.8 (2012～2014) だが、英語で稼ぎたいければ 75% 以上、苦手であっても 6 割後半は欲しい(国社も難しいので)。合格ライン突破のためには、①～③の長文で間違いを 3 問～5 問に抑え、会話をほぼ満点取って、自由英作文をしっかり書くというのがセオリー。
- ⑨ 自由英作文は、解答欄から推測すると約 90～100 words 程度。法に比べると長めなので注意。英語の受験者平均は 57.3 / 50.5 / 53.2 で 2012 は例外的に長文が短く難易度が低い。過去問をやる際には注意しよう。